



発見は学び

園長 米澤 千秋

季節を先取りするような暑い日が続いていますが、子どもたちは時折吹き抜ける風の心地よさを感じたり、木陰で砂遊びをしたりなど、元気に遊んでいます。先日は、小石川植物園への親子遠足にご参加いただきましてありがとうございました。探検カードを使っての散策や、広場での触れ合い遊びなど、初夏の自然にたっぷり触れる経験となりました。

幼稚園にも自然に触れる機会がいっぱい！

スズムシのようちゅう はっけん！

昨年飼育していたスズムシが9月頃、卵を産みました。それからずっと、霧吹きで湿らせ、カビがはえないように土の様子を気に掛け、大切に育ててきました。そして先日、小さな幼虫を発見！約8か月をかけて、大切な命を育み、誕生する喜びを味わうことができました。成虫になり、きれいな虫の音を聞かせることを楽しみに、引き続き大切に育てている子どもたちです。

トマトのあかちゃんだ！

5月初旬に苗植えや種蒔きをし、「大きくなるの楽しみだね」と毎日水やりをしている子どもたち。ある日小さな青いトマトがなっていることに気付きました。「見て！トマトの赤ちゃん！」と、興奮気味に知らせてくれました。その子にとってはまさに大発見！毎日、継続的に触れられる環境だからこそ、小さな変化に気づき、驚きや嬉しさ、不思議さなどを感じることができます。収穫して味わったときの子どもたちのつぶやきが楽しみです。



ヤゴホテルが からっぽだ！

清掃前の小学校プールからヤゴをもらい、「ヤゴホテル」と名付け、小さな水槽を部屋に見立てて飼うことにしました。トンボとは違う形のヤゴに子どもたちは興味深々です。

そんなある日、登園するとホテルの1部屋が空っぽに！ヤゴもトンボもない水槽を見て「トンボになったのかな？」「どこに行っちゃったの？」と不思議がっていると…しばらくして園舎の壁に大きなトンボを発見！「あ！あんなところにいた！」「あの子(あのヤゴ)だよね！」「どうやって飛んで行ったのかな？」「明日もここにいてね！」「幼稚園に泊まってもいいよ！」「あれはギンヤンマかなあ？」など、感じたことや疑問に思ったことなどを言葉で表していました。

子どもたちが直接体験を通して、興味関心を広げたり深めたりできるように、教師は、子どもたちの気づきを促す声掛けをしたり、自然と出合える環境を整えたりしています。

発見を楽しむ経験は、もっと知りたいという幼児の好奇心や探求心を育みます。そしてその力が、小学校の学びに向かう力となります。子どもたちの発見と一緒に楽しみ、たくさん共感していきましょう。



あしたも ここにいてね

